
入門講座(赤木クラス)講座説明会
入門講座<先取り>赤木クラスで
ライバルに差をつけろ！



～春まで待てない！～

入門講座 ＜先取り＞赤木クラスで『ライバル』に差をつける！

1 先取りクラスの目標等

2019又は2020年予備試験、京大LSへの合格
→中でも重要なウェイトを占める論文試験に重点

論文突破に必要な能力：当事者目線と条文至上主義
出題形式：事例・未知の問題

合格点：「一応の水準」（50点満点の21点以上）より少し上を全科目で
（目標は半分越え）

法律論文とは・・・条文を使いこなして事例の紛争を解決

↓そのために

事例把握力

法的思考力（条文についての基礎的な最低限の知識＋思考方法）

応用力（条文の使いこなし、事実の分析等）

文章力

自己統制力

→「いつのまにか習得」、知識を条文に集約

2 赤木クラスの特徴・魅力

(1) 論文力を1年目からじっくり養成

→大事な1年目で漫然と学習するのではなく、論文対策という目的を持った学習（意識付け）で差をつける

（論文書くには深い理解＝時間がかかる）

←→

※他校や大学との比較

1年目の扱い

学習指導方針

INPUT

問題を解く感覚で、勉強。

事例、条文、当事者目線

講義後はしっかり復習、条文、理解

復習のペース等＝回数とスパンが大事

OUTPUT

INPUT で示した解き方を実践

法的思考力以外の4つの力のベースもここで

復習するときの注意点

間違っていた場合は理由を考える

(2) 徹底したメリハリ付け

テキストと条文

マーカー

ランク付け

学習時期

手を広げるな

(3) 全科目・一人の講師による一貫指導

←→憲・民・刑・商・民訴・刑訴・行政という順番の弊害

+科目ごとに講師変わる弊害

+INPUTとOUTPUT講師のズレ

（4）勉強方法の方針

INPUT	1年目
	2年目以降
OUTPUT	1年目
	2年目以降

3 先取りクラスの魅力

（1）憲法・行政法から前年度クラスに

（2）民法以下は春開校クラスに

（3）先取りクラスの魅力

論文・短答の勉強時間が人よりも3ヶ月多く取れる意味

れっく LEC 東京リーガルマインド

著作権者 株式会社東京リーガルマインド

(C) 2017 TOKYO LEGAL MIND K. K. , Printed in Japan

無断複製・無断転載等を禁じます。

LM18001